

「^{なかぎり}中切水力発電所」の工事着手について

株式会社シーテック（本社：名古屋市瑞穂区、代表取締役社長：仰木 一郎、以下「シーテック」）は、中切水力発電所の建設工事について、本日、工事に着手しましたのでお知らせいたします。

中切水力発電所は、中部電力株式会社（本社：名古屋市東区）が所有する下原ダム右岸に建設する、ダムの落差と河川環境を維持するための放流水を有効活用した維持流量発電所です。（2021年3月25日お知らせ済み）

発電出力は360kWで、2023年8月の運転開始を予定しております。

シーテックは引き続き、地元の皆さまや関係各所にご理解とご協力をいただきながら、安全を最優先に工事を進めてまいります。

【中切水力発電所の概要】

発電所名	中切水力発電所
所在地	岐阜県 下呂市金山町中切地先
出力	360 kW
想定年間発電量	約237万kWh (一般家庭 約760世帯分の年間使用電力量に相当)
CO ₂ 削減量	年間1,020トン程度
営業運転開始	2023年8月

別紙：概略位置図と発電所設置イメージ図

以上

概略位置図と発電所設置イメージ図

○概略位置図



○発電所設置イメージ図



下原ダム空撮写真

○発電所概要

下原ダム右岸にある既設取水口から維持流量分を取水し、新設する水圧管路で下流側に導水して立坑内の水車・発電機で発電する。発電後の流水は、現状と同様にダム直下に放流する。

以上